

2019.5.31
vol.55障害者支援施設 ひかり苑
〒743-0051 光市岩狩3丁目1-2
TEL(0833)77-2000
[URL] http://www.hikarien.jp

承認

施設長
國澤 宗嚴

人間の生存本能は、たえず「自分自身が協力の輪の中に入っているか?」「仲間はいるか?」という事に対して、常に「チェック」をかけていると言われます。それは、人間は古来より「仲間に入れないと生きていくことが出来なかった(集団で生活しないと食料や生活環境の維持ができない)」という事が、本能として備わっているからだと言われています。古来の人間は、「輪の中に入っていない=死」をイメージすることにつながっていたそうです。

現在の日常生活においても、自分の陰口を耳にしたり、会話の中に入っていないと感じた時などは、自分は仲間外れにされているのではないかと、すごく過敏になる事があると思います。その時の精神状態にかなりの苦痛を伴うことを考えると、

「輪の中に入っていない=死」をイメージすることを、本能的に感じているということが分かります。

そして、それらを回避するために、常に「チェック」をかけているわけですが、その「チェック」に対して「イエス」で答えてくれるのが「認めているよ」という言葉かけ=承認となります。あなたがそこに存在していることに気が付いているよ、というメッセージを送る事が、「自分が生き残れるか?」という不安を払拭することにつながります。また、この不安を取り除いてくれ、安心を与えてくれた人に対して、人は絶大な信頼を寄せるとも言われます。

のことから考えると、私たちは改めて、互いの存在を認め合う事を再認識し、大きな安心感のもと、事業を進めていかなくてはならないと感じております。

ひかり苑

生きがいのある生活をめざして
NOW

Report 平成30年度ひかり苑 福祉QCサークル活動

テーマ 「嚥下機能が低下した利用者の支援方法」

今年度もひかり苑では福祉QCサークル活動に取り組みました。

福祉QCとは、職場での課題・気付きを改善し標準化することで、統一したサービス・業務を継続していくことです。

今年度で2年目の取り組みですが、

今回は「今、利用者が一番困っていること、一番支援してもらいたいことは何ですか?」という内容で職員アンケートを実施し、最も多かった嚥下機能が低下した利用者の支援方法を取り上げることにしました。



嚥下機能に関する専門家である言語療法士を招いて助言をいただき、

そこで明らかになった改善点を元に男性利用者Bさんの食事中のむせこみ回数に着目し、

食事形態や介助方法で期間中にむせこみ回数を50%減にすることを目標とし、

サークルメンバー以外にも生活支援員、管理栄養士、看護師が協力し合い取り組みました。

その結果、約2週間の期間で、対策前に107回あったむせこみ回数が対策後には38回となり、

目標としていた50%減が63%減となり、目標を達成することができました!

この取り組みで得た波及効果としては、調査を元にして実際に対策を講じることにより、

職員の食事支援に対する意識が高まり、利用者に対して職員がさらに寄り添うことが出来ました。

また、外部講師からの助言をいただくことにより、介功用具に対する職員の知識が増え、

さらには食事以外の場面においても姿勢保持の重要性を知ることができました。

対策の実施	①食事姿勢の変更	対策の実施
STに実際の食事介助方法を見ていた結果… 1、頭部が後屈している 2、上半身が斜傾している	との指摘があり、対策として以下の内容を実施! Before: 人物が直立位で座る After: 人物がクッションを頭の後ろに置き、頭部を前に起こす 右に傾くため、ナーセントパットを右肩後ろに設置し、傾きを防ぐ U字クッションを使用し、両腕を前に出して安定を図る	変更1：主食は全粥をミキサーに変更 変更2：主食はソフト食に変更→食材によっては刻み食にジュレをかけ対応 変更3：汁物はどろみ粥を使用→どろみ粥は蒸のカートに保管し、無くなれば管理栄養士に申告し補充
		Before: 人物が直立位で座る After: 人物が粥をミキサーに注ぐ 粥をミキサーに注ぐ 粥をミキサーに注ぐ 粥をミキサーに注ぐ

障害者支援施設 ひかり苑 の理念		生きがいのある生活をめざして、三つの理念のもと、取り組んで参ります。
人間の尊厳	共感する心	専門職として、常に相手の立場にたって考え、ご利用者と共感できる姿勢を目指します。
謙虚な心		専門職として、地域福祉の向上を目指し、ご利用者、地域から学ぶ謙虚さを大切にします。
感謝する心		専門職として、経験を積めること、働くことに対して感謝の気持ちをもちます。



活動報告

季節毎の行事や地域の皆様との交流など、ひかり苑では一年を通して様々な活動をしています。

もちつきのど自慢大会

12月2日に「もちつき・のど自慢大会」を開催しました。寒い中、多くの皆さんにご来場いただき、ありがとうございます。無事、大盛況のうちに終えることができました。



成人式

今回は1名の方が成人を迎えられました。おめでとうございます。



光ライオンズクラブ 交流会

今年も光ライオンズクラブの皆さんにご来苑いただき、とても楽しい時間を過ごしました。



クリスマス会

「イオン光店」様から提供していただいたケーキ作りのセットで、みんなで果物いっぱいの大きなケーキを作りました。作ったあとは、みんなで美味しくいただきました。



お花見

満開の桜の下でみんなでお花見。花びらが舞い散る様子を眺めながら、春のひとときを過ごしました。



お花見



平成最後の大晦日



サンシャワーバンド

のど自慢大会や光ライオンズクラブ交流会等の行事で演奏しました。パワフルな歌声と元気いっぱいのバックダンサーで会場を盛り上げました。



今年度より、音楽が得意な職員が自由に参加し、利用者も今までの固定メンバー以外にも参加してもらい、それぞれの個性が発揮できるような幅広い活動ができるようにしました。



成人式



目的別活動

生活力の向上を目指す、目的別活動。

みんなが活動を選択して楽しい一日を過ごしました。

カラオケ

マイクを片手に曲を熱唱。とても盛り上がりました。



観光

ヤギの餌やり体験後、柳井市の「サザンセト」伊保庄マリンパークにて美しい海を眺めながらお弁当を食べました。



グルメ&ショッピング

下松市の「すすめ!ヴァイキング」に行きました。焼肉やお寿司など、たくさんの美味しい料理をいただきました。

